

## 新産地域

# 地域別にみた開発の方向

新産地域は、九州地方での大規模な工業開発をはかるべき地域であり、九州地方における開発の中核的拠点として本県はもとより周辺関連地域の経済、社会、文化を積極的に引き上げていく役割を果たす地域であります。

この地域は、新産業都市不知火・有明など各種の産業基盤や都市施設の整備を行ない、地域の都市化を推進するので、新産業都市建設基本計画に基づいて、道路、鉄道、港湾、用地用水などをかりまた商業や観光、サービス業など関連産業を育成して、地域経済の総合的な発展をはかります。

この地域には、熊本市をはじめとして県内一市半数を越す六市が南北に配置されていますが、これらの市街地の周辺および臨海部にはあらたな工業団地と住宅団地の開発を推進します。

八代市を中心とする臨海部は、従来から本県工業の中心地としてすでにかなりの集積をもっていますので、これらのみ既に開発された地域をもつて、これまでにかなりの開発を進めてきました。

一方、これらの工業開発地区や市街地の周辺平坦部およびこれにつらなる丘陵台地、山麓、宇土半島、大矢野島は、商

業構造を高度化し、それに必要な労働力を確保し、また産業基盤や生活環境を整備強化して、県勢の飛躍的な発展をはかることは、本県が直面している地域開発の基本的な課題でもあります。しかし、その課題を達成するためには、県内の各地域がそれぞれの地域の特性を生かして県経済の発展に参加し、各地域の経済活動がたがいに結び合わされ好影響を及ぼしながら、県全体としてまとまつた力を發揮する必要があるわけです。

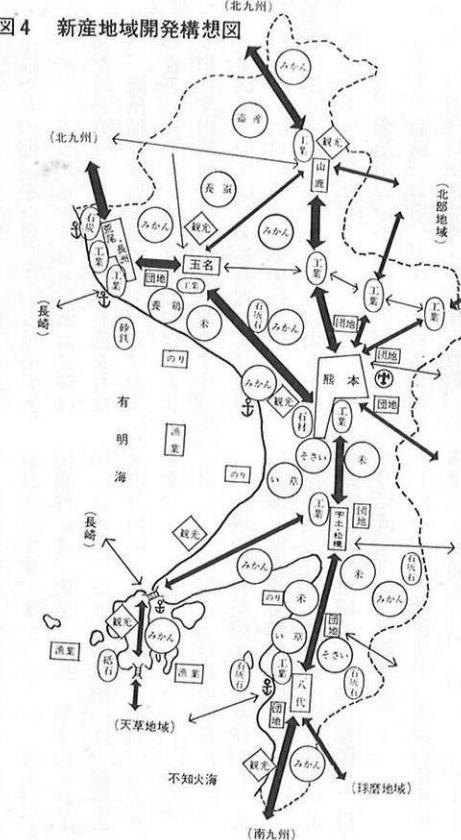
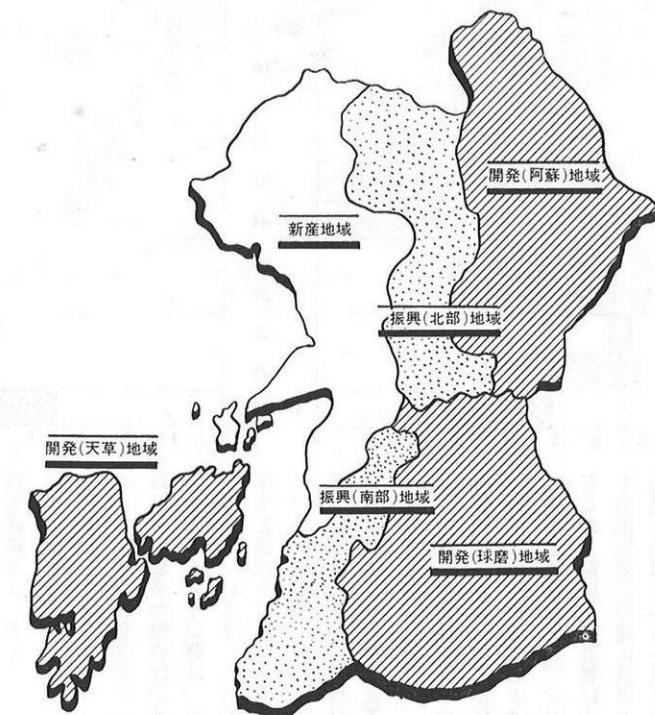
したがってこの計画では、特に地域間の均衡ある発展という課題をかかげました。つまり、從来行なわれてきました地域区分の成果を取り入れながら、主として各地域の経済的な機能と相互の関係、および地域別の開発方向を明らかにしようとするものです。

つまり、從来行なわれてきました地域区分の成果を取り入れながら、主として各地域の経済的な機能と地理的な条件、さらに從来からの開発態勢などの面を検討した上で、△図3▽のように、県内を新産業都市の指定区域である新産地域、新産地域の周辺に位置しその直接の波及効果を受けてこれと密接に関連しながら発展する振興地域、および高冷な山地や温暖な島嶼として特殊の地理的条件を備えた開発地域の三地域に区分しました。

さらに、各地域の特性と立地条件に応じた開発方向を明らかにするとともに、それぞれの地域の機能が十分に発揮されるような施策の遂行、なかでもすぐれた交通通信施設によりまして、地域間の経済や温暖な島嶼として特殊の地理的条件を備えた開発地域の三地域に区分しました。

| 地域   | 関係市町村名  |
|------|---|
| 新産地域 | 熊本市、八代市、荒尾市、玉名市、山鹿市、宇土市<br>飽託郡全域<br>宇土郡全域<br>下益城郡のうち中央村、砥用町を除く全城<br>玉名郡全域<br>鹿本郡のうち菊鹿村を除く全城<br>菊池郡のうち菊陽村、合志村、西合志村<br>上益城郡嘉島村<br>八代郡のうち千丁村、鏡町、竜北村、宮原町<br>天草郡大矢野町<br>(6市34町村) |
| 振興地域 | 菊池市<br>下益城郡のうち中央村、砥用町<br>鹿本郡のうち菊鹿村<br>菊池郡のうち七城村、旭志村、大津町、泗水町<br>阿蘇郡のうち西原村<br>上益城郡のうち御船町、益城町、甲佐町<br>(1市11町村)  |
| 南部地域 | 水俣市<br>八代郡のうち坂本村、東陽村<br>芦北郡全域<br>(1市6町村)  |
| 開発地域 | 阿蘇郡のうち西原村を除く全城<br>上益城郡のうち矢部町、清和村<br>(13町村)  |
| 球磨地域 | 人吉市<br>八代郡のうち泉村<br>球磨郡全域<br>(1市14町村)  |
| 天地草域 | 本渡市、牛深市<br>天草郡のうち大矢野町を除く全城<br>(2市12町)   |

&lt;図3&gt; 地域区分



品生産の比率が高い農業地帯として高い生産性を有し、市場条件や輸送条件にもすぐれていますので、米、みかん、畜産、そさい、近郊園芸、養蚕および草その他の工芸作物など成長換金作物の集団生産地として開発をはかります。しかし、その反面、地域の都市化工業化にともない、就業者の移動や土地利用の変化、兼業農家の増大など他産業の影響を受けやすい地域ですので、これらの事態に対処して水稲などの省力多収技術の普及につとめ、玉名平野、八代平野の土地改良や緑化による開発をすすめます。

なお、これらの工業の開発と関連して地元中小企業の振興についても、下請および関連企業の育成につとめるとともに、公害については、事前に十分調査検討して予防措置の万全を期すことになります。

また、有明海、不知火海の沿岸は、大部分が浅海干潟地帯であるので、のり養殖業やその他の浅海漁業の振興をはかり、大矢野島周辺は、かん水畜養殖業の振興によって、高級魚の供給地や海の観光地として開発をすすめます。

特に、この地域の中央にある熊本市は、本県における中核的都市であるのもと、九州地方中部における行政、文化、教育、商業、金融、通信など高い権力機能の集積をもった都市として、また交通の要衝として、中心的な役割を果たしていますので、さらに都市施設の整備をはかり、資本設備率を高め、就業構造を改善するなど経営の合理化をはかる必要があります。